| 200| | | 今年度の事業内容及び令和3年度の負担金、手数料等について説明



会議の様子

10月8日、熊本県市町村自治会館において、「令和2年度第2回国保主管課長会議」を 開催し、県内各保険者から国保主管課長など51人が出席しました。



水俣事務局長

初めに、水俣事務局長が「7月豪雨災害の対応に尽力されている各保険者の皆様に敬意を表する次第です。本会の昨今の動きとしては、7月の豪雨災害に際しての既往歴・服薬情報の提供や診療報酬等の概算前払いの実施、新型コロナウイルス感染症に関連して県から委託を受けた慰労金・支援金の支払事業を実施しているところです。また、次期国保総合システムの更改や審査支払機能の在り方への対応など、国保連合会の果たす役割が増大し、期待も高まる中で、制度改正や諸課題に対して、柔軟かつ的確に対応し、保険者支援の充実強化を図ってまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。」と挨拶しました。

続いて、各担当課長から次の項目について説明しました。

【総務課】

- ◆令和2年7月豪雨災害対策事業及び今般の新型コロナウイルス感染症対策事業の 報告について
- ◆令和3年度負担金、審査支払手数料等について

【情報システム課】

- ◆熊本県市町村事務処理標準システム共同利用クラウドについて
- ◆オンライン資格確認システムについて

【保健事業支援課】

- ◆広報事業について
- ◆令和 2 年度国保・保健主管課長・担当者合同研修会について

【医科審査課】

◆あはき療養費審査支払業務について

〈概要〉

【総務課】

- ◆ 令和2年7月豪雨災害対策事業及び今般の新型コロナウイルス感染症対策事業の 報告について
 - ・新型コロナウイルス感染症に起因する医療機関の資金繰り対策として、厚労省からの要請で、連合会と支払基金が5月診療分の診療報酬の一部の概算前払いを6月に 実施。
 - ・新型コロナウイルス感染症に関する医療従事者等への慰労金及び医療機関等への感 染拡大防止等のための支援金の支給業務に係る申請受付及び支払事務を県から受託。
 - ・令和2年7月豪雨災害発生時、厚労省からの特例通知に基づき、医療機関及び保険者からの照会に応じ、既往歴や服薬情報を提供する業務を実施。また、本県独自の保険者支援として、インスリンや抗血栓薬等の服用が不可欠な被保険者を抽出し、被災市町村に提供。
 - ・令和2年7月豪雨で被災した医療機関等のうち、診療録等のデータが失われて、7月の請求ができない場合について、厚労省の方針に基づき概算払いを実施。なお、審査支払手数料については、東日本大震災等の災害時における他県の取扱いと同様に、国保中央会から示された件数により手数料を徴収。今後も被災医療機関等の診療報酬の概算払いが適用される場合は、審査支払手数料を徴収。

◆ 令和3年度負担金、審査支払手数料等について

- ・国保業務に係る過去 5 年間の決算状況では、平成 30 年度のみが単年度収支でプラス、それ以外は全てマイナスという状況。今後も、国保の被保険者数の減少等により各種手数料の収入減少は見込まれるが、令和 3 年度においては、各種システムの機器更改等の予定もないことから、全ての手数料において据え置き。
- ・保健事業等保険者支援負担金の被保険者1人当たり単価(KDB)については、平成30年の国保主管課長会議において段階的な引き上げの承認を得ていることから、令和3年度からは9円63銭に引き上げる。

【情報システム課】

- ◆ 熊本県市町村事務処理標準システム共同利用クラウドについて
 - ・令和3年度から順次稼働予定の熊本県クラウドについて、令和5年度までの稼働年度毎に各市町村における稼働スケジュール、構築経費及び保守運用経費を説明し、 予算措置を依頼。

◆ オンライン資格確認システムについて

- ・オンライン資格確認システムのセットアップ等に係る連合会作業経費が国庫補助対象外とされ、令和2年度国保情報集約システム手数料の変更が必要となることから、各市町村に令和2年度予算における補正対応を依頼。
- ・オンライン資格確認システムの稼働に向けたスケジュールを説明し、市町村で対応 が必要な事項について、準備を依頼。

【保健事業支援課】

◆ 広報事業について

- ・今年度新たに開始した YouTube を利用した CM 放送 (テレビ CM30 秒と同じもの) の 結果報告と、10 月は対象年代を広げて放送することを報告。
- ・広報共同事業の展開に役立てることを目的に、「国保からのアンケート」を実施する

ため、協力を依頼。

・「国保くまもと」では、新しいコンテンツとして『楽楽★すこやかレシピ』、『国保の WA』を追加したことを報告。

◆ 令和2年度国保・保健主管課長・担当者合同研修会について

- ・10月23日(金)に、新潟県上越市副市長の野澤朗氏を講師として招き、上越市健康福祉部長時代の取り組み等について講演いただく。
- ・各市町村 4 人まで参加可能としており、関係部署と相談の上、調整し出席いただく よう依頼。

【医科審查課】

◆ あはき療養費審査支払業務について

- ・令和3年4月からの審査支払業務の開始に向けて、連合会における準備状況や手数料の積算内容について説明を行い、業務委託を希望する保険者に令和3年度における予算措置を依頼。
- ・連合会及び保険者における今後のスケジュールを説明し、円滑な導入に向けた協力 を依頼。